

国際理解:ジンバブエを通して自分たちの生活を考える

高田智美 横須賀市立横須賀総合高等学校 (定時制)

実践教科:総合的な学習の時間 (産業社会と人間)・7時間

対象学年:2学年 対象人数:55名

(1学年、75人でも実施)

(1) 実践の目的

①ジンバブエという「発展途上国」の現状を生徒に伝える。

二週間という短い期間しか過ごしていないが、自分の経験を通してより多くの情報を生徒に伝え、今まで漠然としていた「遠い国」への興味・理解・認識を深めさせる。

②自分たちの生活を振り返るきっかけとする。

今現在、生徒たちの過ごしている総合高校校舎は総工費約100億円。市内で最も恵まれた環境・施設で生活している彼らであるが、それぞれ複雑な事情を抱えて定時制に進学してきた生徒たちである。二極化している自分たちの環境・生活を、現地の子どもたちの様子を知ることと考えるきっかけとなるよう指導していく。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 アフリカ・ジンバブエという大陸・国に対する生徒のイメージをさぐる	①生徒にジンバブエに関するアンケートを実施 ②現地の小学生への質問を各自考える	アンケート用紙
2・3時限目 「ジンバブエについて知ろう」 ・ジンバブエという国の概要を伝える ・現地の学校の様子を知る	①小学校の授業の様子をビデオで確認 ②アンケート集計の報告 ③「学校」に絞って写真を紹介 ④ワークシートに気づいたこと等を記入	ビデオ、写真 (パワーポイント) ワークシート、アンケート集計結果報告
4・5時限目 写真資料 (約100枚)を見て、現地の様子を知る	①アンケート集計結果で、「アフリカ」のイメージとして多数の生徒が考えていたものと近いもの (自然等) と、遠いもの (都市部や建築物) を見せる。 ②ワークシートに気づいた点・予想と違った点などを記入	写真 (パワーポイント) ワークシート
6時限目 「ジンバブエについて知ろう」	①前回のワークシートを踏まえ、疑問点や内容が不確かなところを確認	ビデオ ワークシート

・ビデオ映像で生徒・学生 の様子を見る	②ビデオ映像を流しながら、説明を加えて理解を深める	
7 時限目 「ジンバブエを通して自 分の生活を振り返ろう」	① 6 時限目の感想をピックアップして紹介する ②ワークシート・写真を使ってジンバブエ国旗について説明、「一番大切なもの」の一位を選ぶ ③日本の誇れるところ・直すべきところを考える ④ 7 時間の授業を振り返って、学習した内容を記入	写真（パワーポイント） ワークシート

（2）授業の詳細

授業は2年生対象の「総合的な学習」で7時間、1年生対象の「産業社会と人間」で3時間（ダイジェスト版）おこなった。「総合的な学習」は、通常週1時間の授業だが、1時間ずつの設定で実施した場合、中間試験と重なるなどして長期間にわたり、映像の記憶が薄れてしまう懸念もあり、集中して2時間授業を2回と1時間授業を2回おこなった。

1 時限目（事前準備・7月）：

ジンバブエ訪問前に、アフリカ・ジンバブエに関するアンケートを実施。現地の小学生（サージョンケネディ小学校）への質問も一人一人考える。小学生への質問はこちらで英語に訳し、それぞれの名前・顔写真のコピーを添えて現地授業の後半に時間をとって回答を記入してもらった。

アンケートは帰国後2時限目、7時限目に資料として使用。質問への答えも抜粋して2時限目に資料とする。

<アンケートより>（抜粋）

ジンバブエ・アフリカについて

⑥ 「日本と違うのでは・・・」と予想されることがあれば書いてください。（ ）は人数

- ・日本より貧しく（16）、まともな教材がないと思う。 設備（10）とか金銭面（5）
- ・貧富の差がはげしそう
- ・学校に全員が通えるわけではない（5）
- ・日本では室内で勉強できるけど、アフリカでは外で勉強していると思う
- ・年間降水量が少なく、気温が高く、植民地から開放された後も引き裂かれた部族同士が紛争を続けている。

その他：宗教、持ち物（2）、生活（3）、気温（2）、服装（3）物価、肌の色、自然、学力、意欲、衛生面（3）、言葉（2）、食べ物（5）、教材システム、文化（3）

⑦ 「日本と変わらないのでは・・・」と予想されることがあれば書いて下さい。

- ・学校がある (5)、先生と生徒がいる、「勉強」をしていること (4)
- ・子どもは純粋でかわいい
先生がいてちゃんと勉強している (3)、勉強しようとしている心 (2)
- ・学校に行きたいと思っている人がいること、勉強したい子がたくさんいること、
- ・友情 (2)、人情、心 (3)、愛、笑顔、仲のよさ、人のやさしさ (2)
- ・色々なことを経験して学ぶこと、仕事をする事
- ・ひとが生きていること (9)
- ・学校に行くと就職がスムーズになる

⑧ あなたが今希望している職業に、ジンバブエでも就けるとお考えですか。

(はい 23、いいえ 93)

「はい」の人・・・() は人数

<職業>

<理由>

獣医 : 動物がたくさんいるし、珍しいのもいて、特に大切な職業じゃないかと思う

調理師(2) : 料理ならできると思う、自分の料理を食べてほしい

ソーイングスタッフ : 設備はなくても手縫いならできるかも

保育士(3) : * 預けるところがないと困るのは一緒だから

* 乳児の死亡率が高いと聞くので保育士の経験は役に立つのではと思いました。

* 子どもがいればできるから

* どの国でも子どもを育てることを手助けする職業は必要だと思う。

デザイナー : どんな土地でもその土地の環境など色々な特色があり、その場所の生活に必要なものを造りだすことができると思うから

福祉関係 : * 少しでも多くの人々を助けるのを手伝えそうだから

* 何かしらできる気がする

美容師 (3) : 日本みたいにたくさんの道具はないと思うけどハサミがあればみんなの髪は切ってあげられると思う

その他 : プログラマー、調理師、動物園の飼育士、警察官、バイク屋(2)

自分のやりたい仕事なら国がかわってもできる

「いいえ」の人

<職業>

<理由>

保育士 : 子どもがいてもお金がなくて現地の人にやとってもらえないと思う

ヘルパー (2) : 寿命がもっと短いと思うし、そんな人件費はないと思う

栄養士 (3) : 食糧難で栄養士どころではなさそう

その他 (施設・設備などが無いのでできない)

アクアリウムクリエイター、パティシエ(2)、自衛隊、IT 関連 (4)、

ファッションビジネス業 (4)、トリマー (2) 整備士 (4)、ホテル業、漫画家、

ペットショップ、劇団、俳優、調理師(2)、アニメーター、美容師、美術関係、

接客業・事務、工場、介護福祉士 (2)、ゲームクリエイター、機械系、大工

- ⑨ 総合高校2, 3, 4年生から現地の小学生(10, 11歳)への質問と、そのこたえ (抜粋)
(一人一人が質問を考えて、現地でも一人がひとつの質問に答えてもらいました)

Q1: 今、一番楽しいことは?

A: 読書、遊ぶこと、両親が望むことをしてあげて、手助けすること

Q2: 将来何になりたいですか。

A: 医者になって病気の人々を癒したい

Q3: 学校で必要なものはありますか

A: 教科書、コンピュータ、絵の具もです。学校対抗の美術コンクールが毎年8月にあるので。

Q4: 学校で何か不自由なことはありますか

A: はい、教科書、イス、机と黒板です。

Q5: 今一番必要なものは何ですか。

A: 教育です。卒業したら働きたいので。

A: 教育です。そうしないと仕事に就けないし、何も買えないので。

Q6: ジンバブエで生活していて、辛いことはありますか。

A: はい、前にありました、でもいつもではありません。たいてい私は”happy girl”です。

A: はい、他の国へ行ってその人たちがしていることや言葉をもっと知ることができればいいのと思います。どんな風に勉強しているか見たいです。多分、ジンバブエとは違って
いるだろうと思うので。

Q7: 絶対あきらめたくないことはありますか

A: お母さんと同じで、歌うことはあきらめたくないです。お母さんはゴスペル・シンガーです。

Q8: 楽しいのはどんなときですか。

A: 日本の人が会いにきてくれるとき、神様に会うとき、誕生日を祝ってもらうとき、プレゼントをもらうとき、試験に受かったとき、日本を訪れるとき。

2・3時限目

ジンバブエ国の概要を日本と比較して表にまとめて紹介、空欄部分を予想させる。

事前指導でのアンケート結果、質問の答えを配布。

ビデオで現地の数学・英語の授業の様子を流す。パワーポイントを使用し、学校の様子をまとめた写真を紹介。生徒には質問や疑問点はその場で自由に発言させる。ワークシートに感想・学習した点・気づいた点を記入させる。

4・5 時限目

写真を「自然・都市・遺跡・学校・授業・ホームステイ」の6つのグループに分類し、それぞれパワーポイントで紹介。合計100枚程度になり、興味を示す部分が生徒によって分かれた。ワークシートに感想等記入。

6 時限目

前回の授業のワークシートを踏まえ、疑問点、理解の足りなかった部分を冒頭で補足説明し、全体に質問をなげかけて確認する。ティーチャーズ・カレッジでの合唱・主食のサザ作り・小学校の生徒の様子をビデオで流しながら説明。気づいた点等をワークシートに記入。

7 時限目

前回のワークシートから感想をまとめ、プリントして配布。①国旗の写真をパワーポイントで示し、色が何を意味するか予想させながら説明。②学校の様子を再度パワーポイントで見せ、2時限目のときと比較。③ジンバブエでの「大切なもの」の集計結果を再度確認し、自分自身の一番大切なものを選ばせる。④開発途上国についての考えで、1時限目と違ってきた部分を考える。⑤ジンバブエの子どもたちに日本の「誇れるところ」「直すべきところ」を紹介するとしたらどんな内容になるか、身近なものでよいので、ひとつでも挙げてみる。

(1) 生徒の反応

事前アンケートや質問を考えた時点での理解と、授業のあとでは、型にはまった「発展途上国のアフリカ・ジンバブエ」のイメージから、「学ぶところの多い国」という視点が生まれ、大部分の生徒は自分たちの生活の現状と問題点とを振り返るところまでは到達できた。

ワークシートより

- ・生徒たちの真剣な授業態度に心打たれました。
- ・今までのイメージと実際のギャップは当たらずとも遠からずという印象を受けた。富裕層に限られるが、電磁調理器、車、広い土地等もあり、自分の浅はかさを思い知らされた。今後、ジンバブエに限らず他の国に対して理解を深めていきたい。
- ・私たちは水道をひねればキレイな水も飲めるし、服もかわいいのが着られる。家から近い学校も選べるからすごく恵まれていると思った。
- ・ジンバブエの子は何をやるにも一生懸命だと思った。
- ・日本より自然が大切にされている印象があった。
自分はジンバブエの子どもと違ってとてもよい生活をしているんだと感じました。学校に来て当たり前のように教科書・シャーペンなどを使って勉強しているのを、もっと感謝すべきだと思いました。
- ・生活する家や学校の環境などいろんな面で違うと思った。幸せとは何だろうと思った。
- ・意外に豊かなところは豊か。貧富の差が激しいのだろうか。
- ・授業料を借りたりする子どももいるらしい。でも普通のことらしい。日本ではあまり考えられないけど、がんばっているんだと思った。自分が学校に来ているのも親が授業料を払ってくれているからだけど、ありがたいことだと思った。

- ・足し算に石とか使うのはアイデアあふれているなあと思った。日本もそんな風に見えるものは使ったらいいのに。
- ・ノートをすごく大事に使っていて良い子たちだなあと思った。自分の周りと比べて大事にして偉いなあと思った。うちなんて使わないノートが山ほどある・・・

<日本の誇れるところ>

- ・ さまざまな食文化や歴史。
- ・ 先進国だから技術が優れているところ。
- ・ 教育がしっかりしていて全員に平等であろうとしている。
- ・ とても便利で十分な教育が受けられるところ
- ・ 安全だと思う。病院がいつでもやっている。
- ・ 戦争がないこと
- ・ 文化です。文明かな？嫌味とかでなく。

<日本の直すべきところ>

- ・ 食べ物を好き嫌いで捨てちゃいけないな、と思う。
- ・ 物を大切にしないところ。ジンバブエの人と比べるとよくわかる。
- ・ ポイ捨てしたりする人や動物を捨てたりする人がいる。
- ・ 自然を大事にしていないところ。
- ・ 今の日本の学生はすぐに命を絶ったりしている。ジンバブエの子どもたちやアフリカの子達はがんばって生きているのに。
- ・ 教育を受けられることを当たり前だと思っているので、もっとありがたく思うべきだ。
- ・ 日本は先進国で物もたくさんあるけれど、思いやり（大切に作る心）を忘れてしまっている。
- ・ 先に進むばかりでは何もできないのに、まるで暴走機関車のように突っ走り続ける。時には立ち止まることも必要だと思った。
- ・ 最近の言葉は崩れて汚い。本気になれない心。

所感・反省点

広く浅く、自分の見てきたものをより多く伝えようとしたため、深く掘り下げる部分が十分でなかったが、3時間しか授業できなかつた1年生からも鋭い質問が出てきたり、考えさせられる内容の意見があつたりして、生徒の視点から気づかされることも多かつた。

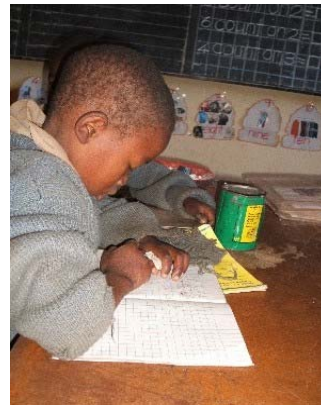
「総合」でこういった内容の授業をし、生徒に「ジンバブエ」の学校や生活の様子の一部だけでも伝えられ、「開発途上の国」理解の一助にはなつたようだ。しかし開発教育の視点からすれば、もう一歩踏み込みが足りなかつた部分もあり、来年度の「総合」にむけての課題になると思う。



日本からの質問に答える



数学の授業



算数の授業



水を運ぶ子どもたち



ホストファミリーのキッチン



現地小学校掲示物（1年生クラス）



「総合」の授業